



KONICA MINOLTA

HONDA



Driver Stand 2りんかん



UNDER ARMOUR  
PERFORMANCE APPAREL



The Nutrition Behind Performance™



PINS  
FACTORY®

# SINOPEC GREAT WALL LUBRICANTS GP OF CHINA

2007年 MotoGP 世界選手権シリーズ 第4戦

上海(中国)[5月6日(日) 決勝 天気 晴れ ]

## #56 中野真矢 [予選10位 決勝リタイア 総合ランキング15位]

金曜日、土曜日となかなかセッティングが決まらず、思うように走れない苦しいレースウィークとなった。

それでも予選では、悪いながら10番手まで盛り返すことができ、レースではいいスタートを決めることに集中していた。

決勝では、スタート直後2コーナーでの混乱をうまく抜けることができ、序盤は10番前後を走行していた。

なんとかペースを上げていきたいと思っていた矢先、バックストレートエンドのブレーキングで、後ろから来た玉田選手に追突され転倒してしまった。

幸い大きな怪我もなかったのが、不幸中の幸いだ。

追突はレーシングアクシデントなので仕方がないが、それよりも、もう少しマシンの状態と自分のライディングスタイルをあわせないと、今は少し厳しい状態だ。



## ジャンルカ・モンティロン (コニカミノルタホンダチーム 監督)



これがレースだから、こういうこともあるよ。

真矢はいいスタートを決め、転倒する前はクリス・バーミュレン(スズキ)と玉田誠(ヤマハ)と争っていた。

最終ヘアピンで誠がフロントを滑らし、不運にも前を走っていた真矢に接触し

転倒させてしまったように見えた。

しかし、我々は誠をフェアなライダーだと昔から良く知っているし、故意でないこともわかっている。

今一番大事なことは、次のル・マンまでの2週間で HRC、ミシュランと共に対策を講じることであり、何か新しいことをして来てくれると期待している。

次のル・マンはミシュランにとって得意のサーキットであり、我々の結果がそれを証明することを確信しているよ。

OfficeFourEight

© shinya56.com